

# 指 導 方 針

サッカーや運動の楽しさに触れ生活を充実させ、そのなかで社会性も育め、成長をサポートできるような場所を目指し、以下のとおり本クラブの指導方針を定めます。

## 【サッカー・運動を楽しむ】

小学生年代に重要視される判断・運動能力全般の向上やサッカー専門の個人技術・戦術の向上を、学年に応じた発育・発達段階や楽しく取り組める要素に配慮しながら指導していきます。

- ◇年代に適した判断が求められる状況をメニューに組み込むことを土台にし、考えながら忍耐強く物事に取り組む習慣をつける。
- ◇サッカーの練習に加え、様々なスポーツに通ずる神経系を刺激するエクササイズも取り入れ、頭と体の使い方を向上させ怪我や認知機能低下のリスクを減らす。
- ◇ボール中心の練習を行い、楽しく頭と体を動かせるように配慮する。
- ◇生まれ持った身体能力の差に左右されない個人戦術を土台にした判断を伴う技術の向上を中心に、各要素を片寄りなく指導しサッカー選手としての土台を築いたうえで個性に応じた指導も行い、より個々の可能性に合ったステージで個性を発揮できる選手の育成を目指す。

## 【社会性を育むことを目指し、成長をサポートする】

我々は、サッカーには周りの人間との協調性やそのなかでの個性の発揮、時に勇気をもって決断する等、人の心を試し成長を手助けする力もあると考えています。

活動を通じて、こちらも発育・発達を考慮していきながらこうした面から成功と失敗を経験できる場を設定し選手に働きかけ、社会性を育む手助けを意識していきます。

- ◇活動の中でコミュニケーションの重要性を実感するメニューを行い、他人に関心を持ち、価値を認め、思いやるよう働きかける。
- ◇活動を通じて、他者との比較よりもまず努力の度合いを評価し、物事に忍耐をもって挑戦する選手を目指す。
- ◇積極的に自分から動く・発信する機会を作り、自主性を育てる。

浜田山ジュニアサッカークラブ 監督・コーチ同

